

# 2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年 8月 8日

株式会社クレハ

## 2026年3月期1Q 実績

### 売上・利益推移

	26/3	25/3	1Q	(単位：億円)		
	1Q	1Q	YoY	2026年3月期 予想		
				1H	2H	通期
機能製品	155	143	13	320	320	640
化学製品	58	84	-26	140	160	300
樹脂製品	87	130	-42	190	190	380
建設関連	24	19	5	65	85	150
その他関連	41	44	-3	85	95	180
<b>セグメント別売上収益</b>	<b>365</b>	<b>419</b>	<b>-54</b>	<b>800</b>	<b>850</b>	<b>1,650</b>
機能製品	1	7	-6	8	18	26
化学製品	-4	4	-8	-2	13	11
樹脂製品	16	17	-1	33	39	72
建設関連	1	1	-0	3	6	9
その他関連	4	5	-2	8	9	17
<b>セグメント別営業利益</b>	<b>18</b>	<b>35</b>	<b>-17</b>	<b>50</b>	<b>85</b>	<b>135</b>
全社調整	5	-3	8	10	-5	5
<b>営業利益</b>	<b>23</b>	<b>32</b>	<b>-9</b>	<b>60</b>	<b>80</b>	<b>140</b>
金融収益費用・税等	-3	-3	1	-15	-25	-40
<b>当期利益※</b>	<b>21</b>	<b>29</b>	<b>-8</b>	<b>45</b>	<b>55</b>	<b>100</b>
EBITDA	54	64	-10	120	143	263

## 2026年3月期 1Q 前年同期比

- ・2026年3月期1Qの前年同期比は、減収・減益となった。
- ・売上収益は、農薬の販売減少、熱収縮多層フィルムの終売などから、減収となった。
- ・営業利益は、機能製品が増収となったものの、PGA棚卸資産評価減の戻入益の減少や、農薬の販売時期ズレによる利益減などから、あわせて減益となった。

## 2026年3月期 業績予想に対する見込み

- ・上期および通期の業績予想については、5月12日に開示した予想値に変更なし。
- ・第1四半期から第2四半期かけての主な変化は下記の通り。
  - ・PVDFの在庫評価損の戻入計上による損益改善
  - ・米国でのPGA樹脂生産による損益改善
  - ・農薬の出荷増による利益増
  - ・家庭用品の大型企画品販売による利益増

### <2026年3月期 予想>

	今回	5月時	25/3月期実績
ROE	5.2%	4.9%	3.6%
BPS (円/株)	4,552	4,466	4,209
自己資本比率	50%	57%	61%

25年6月に実施した自己株式取得枠の再設定（増額）により変更

### <PBR実績>

	25/6月末	25/3月末
PBR	0.70	0.66

※ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

# 【機能製品・化学製品】 セグメント別連結業績

株式会社クレハ

## 機能製品セグメント

	2026年	2025年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
PVDF	37	40	-4	-9%
PGA	21	16	5	33%
その他	39	37	2	6%
機能樹脂	97	93	4	4%
炭素製品	21	20	2	9%
その他	37	30	7	24%
売上収益	155	143	13	9%
営業利益	1	7	-6	-85%

### <前年同期比> 増収・減益

#### 機能樹脂

PPSは増収、PGAは増収となるも棚卸資産評価減の戻入益の減少などがあり、あわせて増収・減益。

## 化学製品セグメント

(単位：億円)

	2026年	2025年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
農薬	7	26	-18	-72%
医薬品	5	6	-1	-12%
工業薬品	22	23	-1	-6%
その他	24	29	-5	-18%
売上収益	58	84	-26	-31%
営業利益	-4	4	-8	-

### <前年同期比> 減収・減益

#### 農薬・医薬

農薬は前期と販売タイミングに差異があり1Qでは減収、医薬は販売数量が減少し、減収・減益。

#### 化学製品その他

グループ会社である商社の苛性ソーダ、農薬原料の販売が減少し、減収・減益。

**KUREHA**

# 【樹脂製品・建設関連・その他関連】 セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

## 樹脂製品セグメント

	2026年	2025年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
家庭用品	52	55	-3	-5%
釣糸	15	15	0	0%
業務用包材	10	50	-40	-81%
その他	11	10	1	10%
<b>売上収益</b>	<b>87</b>	<b>130</b>	<b>-42</b>	<b>-33%</b>
<b>営業利益</b>	<b>16</b>	<b>17</b>	<b>-1</b>	<b>-8%</b>

### <前年同期比> 増収・減益

#### 業務用包材

熱収縮多層フィルムの販売を前年上期で終了したことにより、減収・減益。

#### 家庭用品・釣糸

家庭用ラップ「NEWクレラップ」の販売が減少するも、釣糸「シーガー」は海外での販売が好調で増収となり、あわせて減収・増益。

## 建設関連セグメント

(単位：億円)

	2026年	2025年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
<b>売上収益</b>	<b>24</b>	<b>19</b>	<b>5</b>	<b>24%</b>
<b>営業利益</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>-0</b>	<b>-14%</b>

## その他関連セグメント

	2026年	2025年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
環境事業	26	28	-2	-8%
運送事業	4	4	-0	-9%
病院事業	11	11	-0	-3%
その他	1	1	-0	-7%
<b>売上収益</b>	<b>41</b>	<b>44</b>	<b>-3</b>	<b>-7%</b>
<b>営業利益</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>-2</b>	<b>-32%</b>

**KUREHA**

# 財政状態計算書

株式会社クレハ

資産	2025年 6月末	2025年 3月末	増減
現金・現金同等物	219	215	4
営業・その他債権	260	313	-52
棚卸資産	454	467	-13
その他流動資産	48	53	-5
<b>流動資産計</b>	<b>981</b>	<b>1,048</b>	<b>-66</b>
有形固定資産	1,743	1,735	9
無形固定資産	53	53	0
投資等	650	618	33
<b>非流動資産計</b>	<b>2,447</b>	<b>2,405</b>	<b>41</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,428</b>	<b>3,453</b>	<b>-25</b>

負債及び資本	(単位：億円)		
	2025年 6月末	2025年 3月末	増減
営業・その他債務	189	195	-6
有利子負債	1,255	860	394 ※1
引当金	67	84	-17
その他負債	190	203	-13
<b>負債計</b>	<b>1,700</b>	<b>1,342</b>	<b>359</b>
資本金	182	182	-
資本剰余金	147	147	-
自己株式	-374	-158	-215 ※2
利益剰余金	1,572	1,744	-172 ※3
その他の資本	183	179	4
非支配株主持分	18	18	0
<b>資本計</b>	<b>1,728</b>	<b>2,111</b>	<b>-383</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,428</b>	<b>3,453</b>	<b>-25</b>

※1 … 短期借入金+317、CP+100 他

※2 … 自己株式取得△391、自己株消却+175 他

※3 … 当期利益+21、配当△22、  
自己株消却△175（資本剰余金振替後消却） 他

**KUREHA**

# キャッシュフロー実績

株式会社クレハ

(単位:億円)

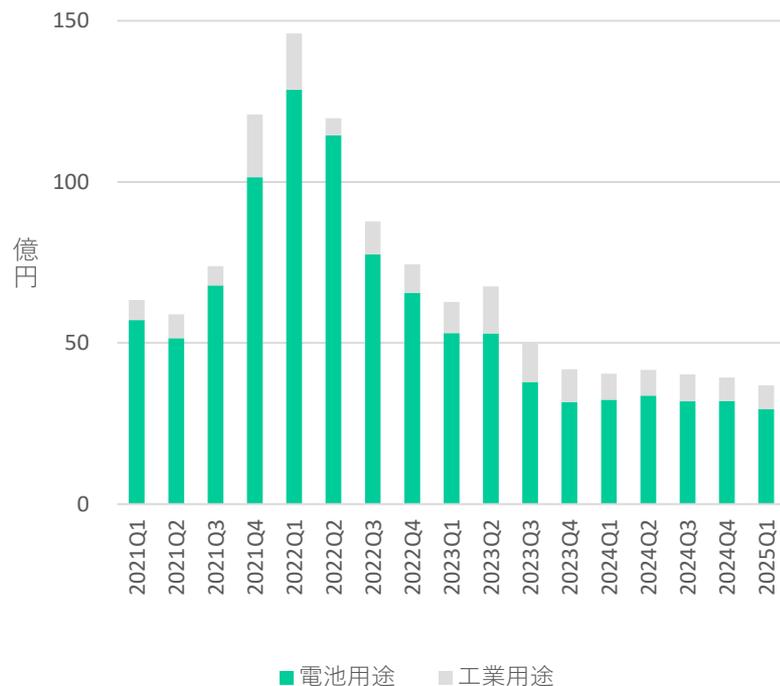
	2026年 3月期 1Q	2025年 3月期 1Q	増減
税引前四半期利益	28	38	-9
減価償却費および償却費	31	32	-1
その他	2	42	-40 ※1
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>61</b>	<b>111</b>	<b>-50</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△42</b>	<b>△41</b>	<b>-0</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>19</b>	<b>70</b>	<b>-50</b>
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>△13</b>	<b>△74</b>	<b>61</b> ※2
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△3	10	-13
現金及び現金同等物の増減額	4	5	-2
現金及び現金同等物の期首残高	215	231	-16
現金及び現金同等物の期末残高	219	237	-18

※1  
 法人所得税支払額 △20  
 営業・その他債権 +6  
 棚卸資産 △6  
 営業・その他債務 △13

※2  
 短期借入金及びCP +417  
 自己株式の取得 △355

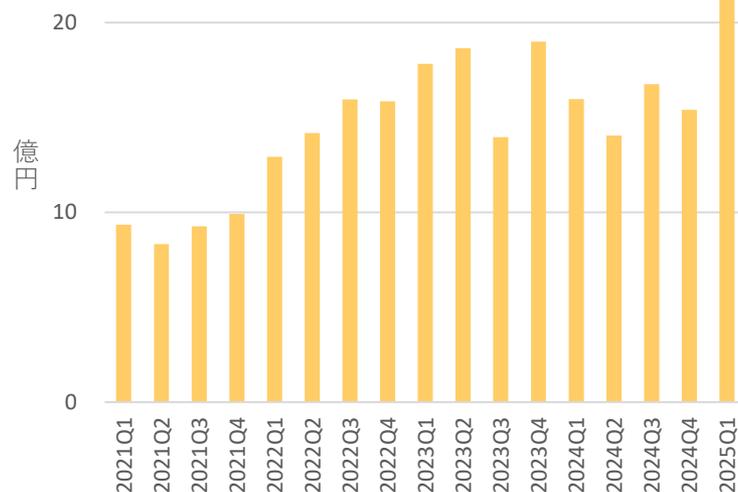
**KUREHA**

## <PVDF売上収益の推移>



- 車載用途のLiB需要は、中長期では持続的に拡大する見通しに変更なし。
- 2025年度当初予想の、車載用途向け概ね横ばい、ESS用途向け拡大という見通しにも変更なし。
- 1Qの販売実績は、車載用途が当初予想に対して若干の未達。ESS用途は予定通り販売を開始。
- 2Q以降の車載用途の出荷増およびESS用途の拡販により、通期業績は想定どおりを見込む。
- 工業用途については、半導体製造用途等において今期の出荷も視野に、新規顧客の開拓が進んでいる。
- 2025年5月に発表した各種新グレード、新規プロジェクトについては、概ね計画に沿って進捗。
- 米国相互関税の影響は、現時点において見られない。

## <PGA売上収益の推移>



- ガス価格の上昇により、ガス鉱区（高温）掘削活動に回復基調への変化の兆しあり。オイル中心の鉱区（中高温）においても顧客開拓によるシェアアップがあり、販売は増加。
- 2024年度夏に販売を開始した低温向けグレードは、主要地区であるパーミアンでの販売が進む。一部デザイン等を調整の上、3Q中に再投入し、拡販を図る。超低温向けも3Q中の市場投入を目指す。
- ショート化プラグへの切り替えは、主要顧客でのフィールドテストが進捗しており、今期末までに切り替えが進む見込み。
- 現時点において、当初の売上・利益予想に対して変更はない。
- 米国相互関税による大きな損益への影響が生じないよう、価格転嫁等を進める。

## 2025年度見直し（5月開示）

自己資本

自己資本比率 **50%程度**

※事業環境、ポートフォリオの変更が生じた場合は適切に見直し

配当

DOE（連結株主資本配当率）

※2026年度までの措置 **5%(目安)**

自己株式取得

取得金額 **2025年度は150億円程度を実施**  
消却方針

会社法178条の規定に加え、株式報酬やM&A等で必要となる株式数を勘案した結果、余剰と考えられる自己株式は、その消却も併せて決議

総還元性向

DOE（連結株主資本配当率）  
基準に転換

政策保有株式

縮減目標 **対連結純資産比率 5%程度**

※ 2030年度までに実施

## 2025年度（今回）

変更なし

変更なし

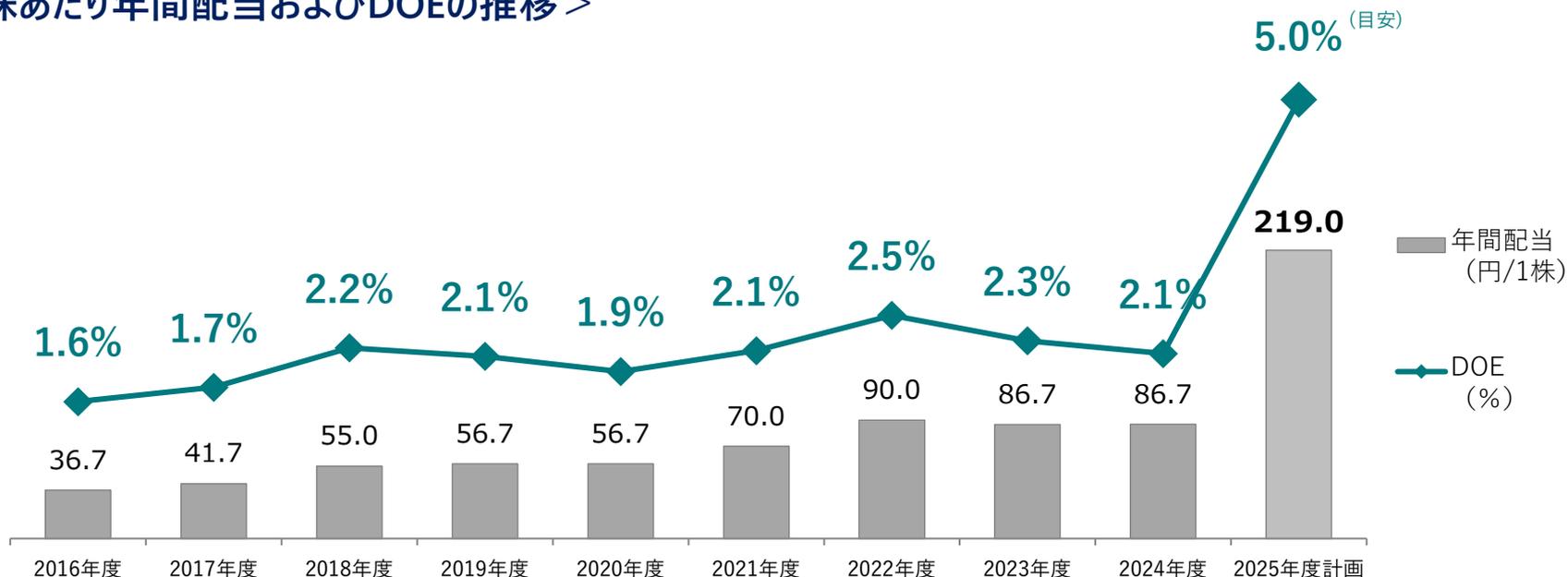
取得金額 **2025年度は391億円実施**  
(今期は終了)  
消却方針は変更なし

変更なし

変更なし

配当単価については216円/株としていたが、自己株式取得（ToSTNeT-3）により自己資本金額および株数に変更が生じたことから、最新の予想に変更。

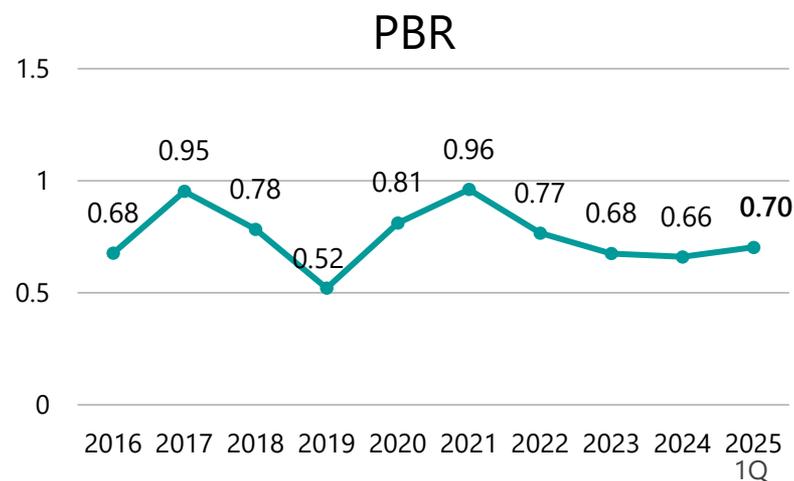
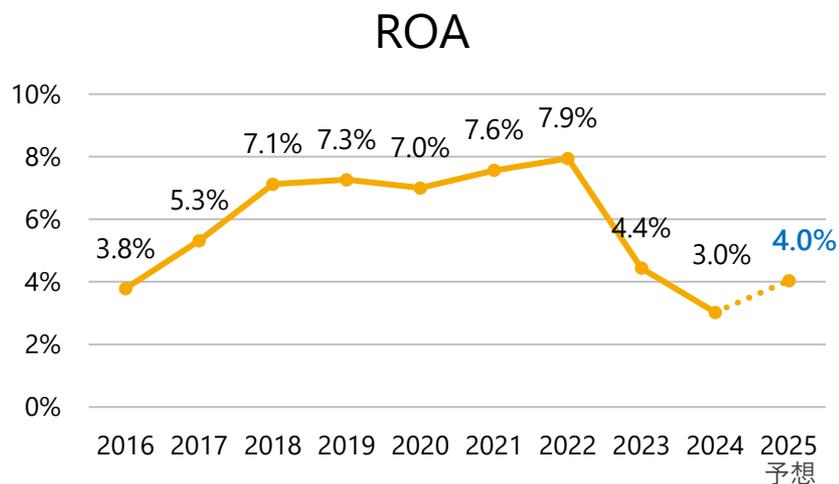
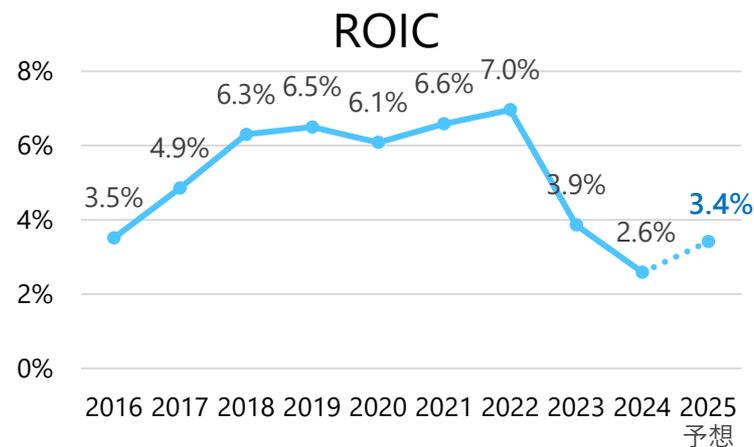
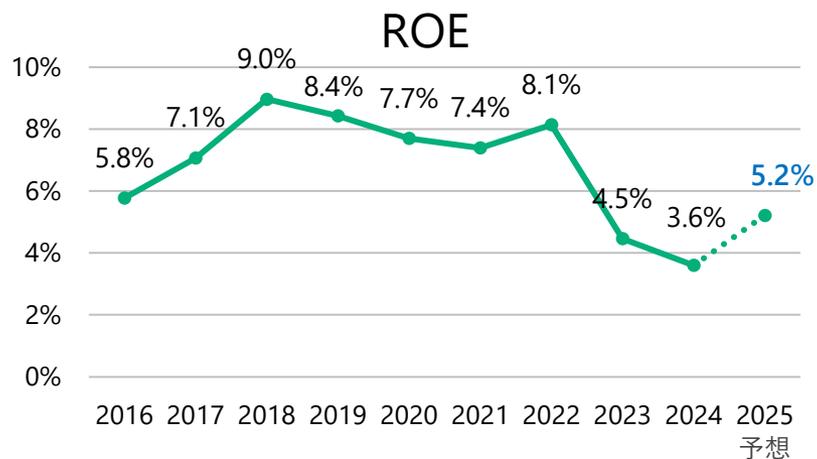
## <1株あたり年間配当およびDOEの推移>



2016年10月1日付で普通株式を10株から1株に併合し、その後2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で分割しています。すべて2024年1月の分割後に換算して表示しております。1株当たり配当予想金額は、現時点における自己株式取得等の予想を反映した株主資本を前提として算定しています。

# 主要指標 (1)

25年6月に実施した自己株式取得枠の再設定（増額）により変更した予想を青文字で表記



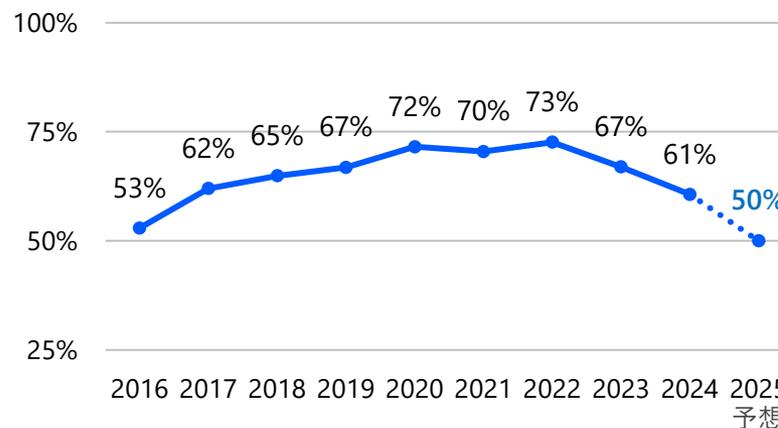
# 主要指標 (2)

25年6月に実施した自己株式取得枠の再設定（増額）により変更した予想を青文字で表記

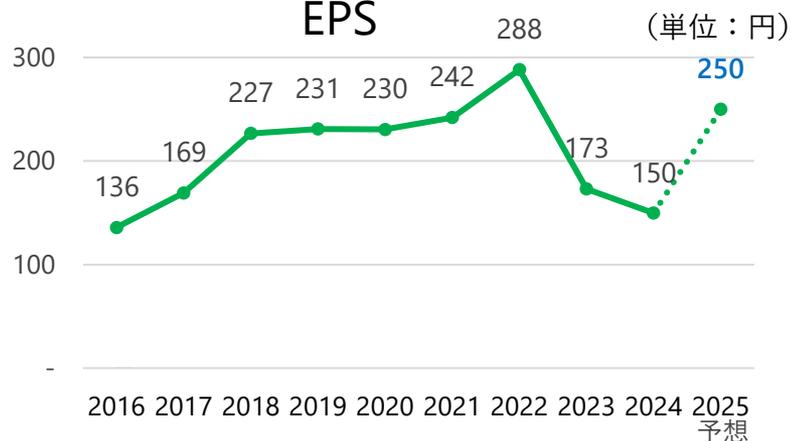
## ネットDELシオ



## 自己資本比率



## EPS



## 有利子負債



2022年度以前も2024年1月1日付で実施した株式分割(3分割)後の数値で表示。

# 通期キャッシュフロー予想

株式会社クレハ

25年6月に実施した自己株式取得枠の再設定（増額）により変更した予想を下線で表記

(単位:億円)

	2026年 3月期 予想	2025年 3月期 実績	増減
税引前当期利益	140	102	38
減価償却費および償却費	123	127	-4
その他	<u>△48</u>	66	-114
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>215</b>	<b>295</b>	<b>-80</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b><u>△247</u></b>	<b><u>△394</u></b>	<b><u>147</u></b>
フリーキャッシュフロー	<u>△32</u>	△99	<u>67</u>
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b><u>△34</u></b>	<b>84</b>	<b><u>-119</u></b>
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響		△2	2
現金及び現金同等物の増減額	<u>△67</u>	△16	<u>-50</u>
現金及び現金同等物の期首残高	215	231	-16
現金及び現金同等物の期末残高	<u>148</u>	215	<u>-67</u>

## 主な増減要因

### 営業CF△80億円

運転資本 △100

### 投資CF+147億円

固定資産取得 +235

M & A △100

投資有価証券 △5

### 財務CF△119億円

短期借入金及びCP +125

長期借入金 +220

社債調達 △199

自己株式取得 △240

**KUREHA**

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。